

就職活動を終えて1

アジア文化学科4年 池田 佳央理

大学3年の秋、就職活動をするにあたり、何から初めてよいものか戸惑っていました。進路支援課主催の外部講師講演や筆記対策模試、先輩ゼミに参加することで就職活動の流れを次第につかんでいきました。特に先輩ゼミでは、先輩方の体験談やアドバイスを受け、モチベーションアップになりました。ゼミの数日後、進路支援課の方に初めて履歴書の添削をしていただき、丁寧にアドバイスしていただきました。真っ赤に添削された履歴書を見て、やる気ができました。自己分析ももう一度細かく見直して、ノートにまとめていきました。

1月の下旬から業界を絞らずに説明会に参加しました。説明会ではその企業の説明の他に、業界の様子や将来像を聞くことが出来ます。プロの話がタダで聞けるとあって、興味津々で説明会に行っていました。説明会のみならず、企業訪問をして取締役の方と直接お話をする機会もありました。

そうして様々な企業の話を毎日のように聞いていき、自己分析と照らし合わせ、自分のやりたいことが食品業界とソフトウェア業界の仕事だという考えに至りました。3月の半ばからは、新しく説明会に行くより、選考の進んだ会社をじっくり受けていきました。

2次選考、3次選考に進むにつれ、面接官の質問内容も多岐にわたり、時には鋭い質問もされます。あれこれ考えて答えるよりも、自分の言葉で素直に答える方がいいです。面接の前には提出した履歴書や自己分析ノートなどを見直し、自分の考えを整理するよう心がけました。こうすることで緊張もほぐれ、自分の言葉で答えられるようになりました。最終的に3社内定をいただき、その中で食品会社にお世話になることに決めました。

内定後は先輩ゼミや今年度から導入された先輩リレーゼミに「先輩」として、後輩たちに話をする機会を与えていただきました。後輩の皆さんが真剣な眼差しで取り組まれる姿に、大きな刺激を受けました。

そんな私も3月から内定先の研修がスタートします。仕事に慣れることが先決ですが、まだ知られていないアジアの健康食材を世に広めること、そして食育に関する冊子作りにいつか携われたらと思っています。